

■コメント

1. インフルエンザ

定点医療機関からの報告数は、前週の18人(定点当たり0.50人)から39人(定点当たり1.08人)に増加しました。流行開始の目安である定点当たり1.0人を上回り、インフルエンザが流行入りしたと考えられます。

インフルエンザは、例年流行が始まると急激に患者が増加しますので、今後の動向に注意が必要です。(次頁参照)

2. 感染性胃腸炎

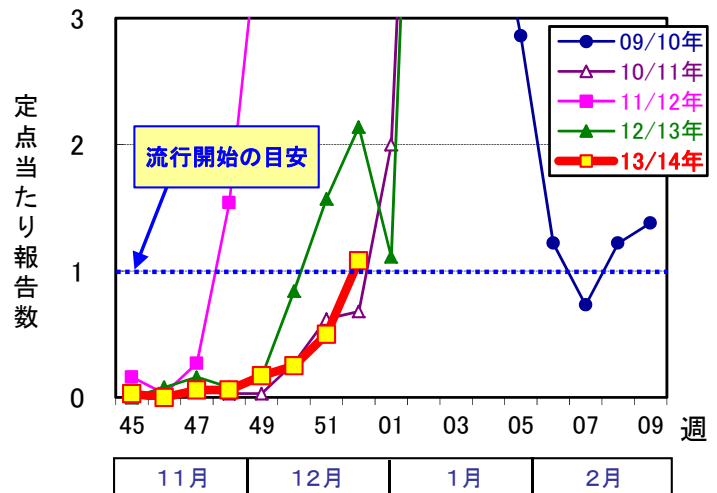
定点当たり15.5人と多い状態が続いており、集団発生も2件(ノロウイルス)報告されています。

手洗いの励行、食品の十分な加熱など感染予防対策を徹底しましょう。

3. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、2013年の累計はこれまでの年間報告数の最高値(2009年の25件)を上回り、26件となりました。(12月29日現在)

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)間	発生記号
インフルエンザ	39	1.08	5.05	↑	流行性耳下腺炎	14	0.61	0.48	→
咽頭結膜熱	24	1.04	0.15	→	RSウイルス感染症	25	1.09	1.34	→
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	0.87	1.21	→	急性出血性結膜炎	-	-	-	→
感染性胃腸炎	357	15.52	12.90	→	流行性角結膜炎	3	0.38	0.33	→
水痘	64	2.78	2.09	→	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	→
手足口病	3	0.13	0.18	→	無菌性髄膜炎	-	-	-	→
伝染性紅斑	-	-	0.14	→	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.46	→
突発性発しん	6	0.26	0.39	→	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	→
百日咳	-	-	0.17	→	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	→
ヘルパンギーナ	-	-	0.02	→					

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	195	女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
5	アメーバ赤痢	1	10	男性(40歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	26	男性(40歳代)・エイズ

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第48週	2	26	28	215	47	4	1	7	-	2	12	18	-	3	-	-	-	-	-
		第49週	6	27	29	316	37	4	-	9	-	-	13	9	2	5	-	1	-	-	-
		第50週	9	31	41	346	55	3	-	13	-	1	14	17	-	1	-	2	3	-	1
		第51週	18	34	33	360	37	-	-	15	-	-	15	27	-	5	-	1	1	-	-
		第52週	39	24	20	357	64	3	-	6	-	-	14	25	-	3	-	-	-	-	-
定点 当たり	広島市	第48週	0.06	1.13	1.22	9.35	2.04	0.17	0.04	0.30	-	0.09	0.52	0.78	-	0.38	-	-	-	-	-
		第49週	0.17	1.17	1.26	13.74	1.61	0.17	-	0.39	-	-	0.57	0.39	0.25	0.63	-	0.14	-	-	-
		第50週	0.25	1.35	1.78	15.04	2.39	0.13	-	0.57	-	0.04	0.61	0.74	-	0.13	-	0.29	0.43	-	0.14
		第51週	0.50	1.48	1.43	15.65	1.61	-	-	0.65	-	-	0.65	1.17	-	0.63	-	0.14	0.14	-	-
		第52週	1.08	1.04	0.87	15.52	2.78	0.13	-	0.26	-	-	0.61	1.09	-	0.38	-	-	-	-	-
	全国	第50週	0.82	0.73	2.28	15.92	1.85	0.41	0.09	0.50	0.01	0.04	0.26	1.39	0.02	0.67	0.02	0.03	0.39	0.02	0.04
		第51週	1.39	0.80	2.38	18.07	2.00	0.36	0.10	0.47	0.01	0.03	0.29	1.30	0.01	0.71	0.01	0.04	0.33	0.03	0.08

■新たに判明した病原体検出状況

新たな検査結果はありません。

【参考】広島市におけるインフルエンザの流行開始からピークまでの期間

シーズン	流行開始時期 (定点当たり1.00人以上となった週)	ピークとなった週と その週の定点当たり報告数		流行開始から ピークまでの期間
2013/14	第52週 (12月23日～12月29日)			
2012/13	第51週 (12月17日～12月23日)	第4週 (1月21日～1月27日)	50.6人	5週間
2011/12	第48週 (11月28日～12月4日)	第5週 (1月30日～2月5日)	29.0人	9週間
2010/11	第1週 (1月3日～1月9日)	第5週 (1月31日～2月6日)	28.5人	4週間
2009/10	第34週 (8月17日～8月23日)	第48週 (11月23日～11月29日)	40.5人	14週間
2008/09	第49週 (12月1日～12月7日)	第5週 (1月26日～2月1日)	36.7人	8週間
2007/08	第47週 (11月19日～11月25日)	第51週 (12月17日～12月23日)	14.1人	4週間
2006/07	第3週 (1月15日～1月21日)	第11週 (3月12日～3月18日)	29.0人	8週間
2005/06	第49週 (12月5日～12月11日)	第4週 (1月23日～1月29日)	51.1人	7週間
2004/05	第3週 (1月17日～1月23日)	第8週 (2月21日～2月27日)	55.8人	5週間

インフルエンザ定点医療機関(市内37か所)からの報告数です。

2009/10シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009が早期に流行したため、流行開始からピークまでの期間が14週間と、長くなりました。

2009/10シーズンを除くと、流行開始からピークまでの期間は平均6.3週間となっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第52週(12月23日～12月29日)